

目次

はじめに	1
目次	3
図表目次	8
凡例	18
第1章 イントネーション研究の方向性を探る	19
1-1. 日本語イントネーション研究の歴史	19
1-1-1. 第1期: イントネーション研究前史(～1950年代以前)	19
1-1-2. 第2期: イントネーションの音韻論に向けて(1950年代～1980年代)	21
1-1-3. 第3期: 「目」による音声学的アプローチ(1980年代～)	24
1-2. イントネーションの定義をめぐって	27
1-2-1. 一般的なイントネーションの定義	27
1-2-2. 各時期におけるイントネーションの定義の特徴	29
1-2-3. 本研究におけるイントネーションの定義	32
1-3. イントネーションの種類・記述方法の問題点	35
1-3-1. 従来のイントネーション種類・記述	35
1-3-2. 本研究におけるイントネーション6種類	40
1-4. 談話研究とイントネーション研究の接点	
～いわゆる「尻上がり」イントネーション研究の意義	41
1-4-1. 談話研究の諸相	42
1-4-2. 談話におけるイントネーション研究としての「話調」研究	44
1-4-3. 「話調」再定義	47
1-4-4. 「話調」研究の具体化: いわゆる「尻上がり」イントネーションの研究	50
1-5. 研究の手順	52
1-5-1. 「話調」分析のためのイントネーション分析単位と記述方法	52
1-5-2. 分析対象の音声談話資料とその分析手順	55
1-6. 本研究の位置付け	56
第1章の註	58

第2章	いわゆる「尻上がり」イントネーションについて	61
2-1.	いわゆる「尻上がり」イントネーションの概要とその問題点	61
2-1-1.	音響的特徴と名称の問題	62
2-1-2.	出自の問題	63
2-1-3.	評価の問題	67
2-1-4.	使用意識と評価の乖離と使用者層の拡大	68
2-2.	いわゆる「尻上がり」イントネーションの音響的特徴	74
2-2-1.	調査の手順	75
2-2-2.	いわゆる「尻上がり」イントネーションが加わった助詞の部分の長さ	76
2-2-3.	先行語のアクセント型別後続助詞の長さ	78
2-2-4.	ピッチパターンで見るいわゆる「尻上がり」イントネーションの特徴	79
2-2-5.	当該拍内のピッチ変化率の比較	84
2-2-6.	資料の限界	87
2-3.	いわゆる「尻上がり」イントネーションの談話・文法上の機能	88
2-3-1.	いわゆる「尻上がり」イントネーションの現れやすい箇所	89
2-3-2.	いわゆる「尻上がり」イントネーションの現れにくい箇所	90
2-3-3.	いわゆる「尻上がり」イントネーションの談話・文法上の機能	91
2-3-4.	いわゆる「尻上がり」イントネーションの文体表示機能	94
2-4.	いわゆる「尻上がり」イントネーションの実際と「ステレオタイプ」	98
2-4-1.	いわゆる「尻上がり」イントネーションの音声上のバリエーションとその認知	98
2-4-2.	いわゆる「尻上がり」イントネーションの印象を決定する要因	102
2-4-3.	使用場面に関する調査結果と実際の使用場面の違い	108
2-4-4.	いわゆる「尻上がり」イントネーション現象の社会背景	112
2-5.	いわゆる「尻上がり」イントネーション現象から「話調」研究へ	117
	第2章の註	120
第3章	イントネーションの類型化とその談話別分布	121
3-1.	イントネーション分類	121
3-1-1.	上村の現代日本語イントネーション分類	122
3-1-2.	問題点と改良版イントネーション分類	123

3-2. イントネーション 6 類型の妥当性の検証	126
3-2-1. 分析対象句	126
3-2-2. 説明変数について	126
3-2-3. 聴覚的印象によるイントネーションの分類	127
3-2-4. 分析結果の概要	128
3-2-5. 誤判別例の検証と各イントネーションの典型の推定	136
3-3. 終助詞、間投助詞の音調	146
3-3-1. 終助詞、間投助詞の音調	146
3-3-2. 上昇調の終助詞、間投助詞	147
3-3-3. 昇降調の終助詞、間投助詞	151
3-3-4. 平調の終助詞、間投助詞	154
3-3-5. 終助詞、間投助詞の音調とイントネーション	154
3-4. 各イントネーションの機能	156
3-4-1. 平調	156
3-4-2. 上昇調	157
3-4-3. 強調	160
3-4-4. 下降調	163
3-4-5. 昇降調	164
3-4-6. 停滞調	168
3-5. 談話のタイプと各イントネーション型の分布	170
第3章の註	174
第4章 各種談話と韻律的諸特徴	177
4-1. 談話のコミュニケーション論上の諸特徴	177
4-1-1. 談話とそのコンテキストの関係	178
4-1-2. 談話のコミュニケーション論上の分類	179
4-1-3. 本研究談話資料のコミュニケーション論上の位置付け	184
4-2. 各談話のポーズ・発話速度・ピッチレンジ	186
4-2-1. ポーズ	186
4-2-2. 発話速度	196

4-2-3. ピッチレンジ	198
4-3. 各談話における言い淀みと言い直し・フィラー・相づち(間投詞)	202
4-3-1. 本資料全体における言い直し・フィラー・相づち(間投詞)の傾向	203
4-3-2. 女性アナウンサーの発話とそれに対する司会者の相づち	207
4-3-3. 男性アナウンサーの発話とそれに対する司会者の相づち	209
4-3-4. 女性医師の発話とそれに対する相づち	212
4-3-5. 男性医師の発話とそれに対する相づち	214
4-3-6. 女子高校生の発話とそれに対する司会者の相づち	216
4-3-7. 男子高校生の発話とそれに対する司会者の相づち	219
4-4. 韻律的諸特徴による談話の分類	223
4-4-1. 本研究の談話に関する聴取実験	223
4-4-2. 因子分析の手順	224
4-4-3. 因子分析の結果	225
第4章の註	233
第5章「話調」研究の課題と展望	235
5-1. イントネーションの離散性	235
5-1-1. プロトタイプ・カテゴリー	235
5-1-2. イントネーションの知覚及び意味とそのカテゴリー化	238
5-1-3. イントネーションの離散性と連続性	241
5-2. 各章の概要	248
5-2-1. 第1章の概要と本研究の言語学史上における位置付け	249
5-2-2. 第2章の概要：いわゆる「尻上がり」イントネーションとは何だったのか	251
5-2-3. 第3章の概要：句末イントネーションの種類と談話別分布	253
5-2-4. 第4章の概要：「話調」の科学的分析	254
5-2-5. 日本語音声談話の韻律構造、「話調」研究の意義	256
5-3. 「話調」研究の今後の課題と展望	257
5-3-1. 「話調」研究の今後の課題	257
5-3-2. 「話調」研究の長期的展望	258
第5章の註	261

おわりに	263
資料	267
資料A	268
資料B	277
資料C	300
資料D	301
参考文献	323
事項索引	341
人名索引	347
和文要旨	353
英文要旨 (Abstract)	357